

特定保守管理医療機器「生体情報モニタ Accumil V7000シリーズ」の構成部品  
ネルコア エクステンションケーブル TypeV  
マシモ エクステンションケーブル TypeV

【禁忌・禁止】

接続する生体情報モニタの取扱説明書を参照してください。  
＜併用医療機器＞「相互作用の項参照」  
・磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）を併用しないこと。  
[MRI装置への吸着、故障、破損、火傷等が起こる恐れがあるため。]

【形状・構造及び原理等】

\*\* 1. 構成

①ネルコア  
エクステンションケーブル TypeV  
HXA-VCDMJ-EXTC



ケーブルの長さ:2.5m

②マシモ  
エクステンションケーブル TypeV  
HXA-VLNCS-EXTC



ケーブルの長さ:2.9m

\*\* 適用機器

適用機器	医療機器認証番号
生体情報モニタ Accumil V7000シリーズ	22600BZX00092000
生体情報モニタ Accumil V6000シリーズ	22600BZX00264000
生体情報モニタ Accumil V5000シリーズ	22600BZX00097000

\*\* 2. 動作保証条件

温度範囲：0～40℃  
湿度範囲：15～95%

\*\* 【使用目的又は効果】

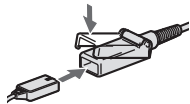
生体情報モニタまたはSpO2モジュールなどとSpO2センサを接続するための中継ケーブルです。

接続機器は生体情報モニタの取扱説明書を参照ください。  
小児または成人患者の手指、耳、鼻梁、足などの部分にセンサを装着し、皮膚を通して光を照射し、動脈組織血中のオキシヘモグロビンおよびデオキシヘモグロビンによって吸収される光量を検知するために使用します。  
生体情報モニタで信号を取得および転送します。  
本ケーブルは再使用可能です。

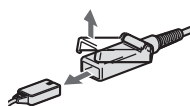
【使用方法等】

\* ＜使用方法＞

- \*\* 1. ケーブルの透明カバーを開け、センサを接続してください。  
センサのコネクタは、まっすぐに奥まで差し込んでいることを確認してください。
- \*\* 2. センサのコネクタを覆うように、カバーを閉じてください。



- \*\* 3. ケーブルの本体側コネクタを生体情報モニタの取扱説明書に従い接続してください。
4. センサを外す際は、カバーを開き、センサのプラグをしっかり持ち、ケーブルのコネクタからまっすぐ引き抜いてください。  
ねじったり、ケーブル部分を持って引き抜いたりしないでください。



\*\* ＜組み合わせて使用する医療機器＞

ケーブル	販売名	製造販売業者	医療機器届出番号
①	ネルコアセンサ DS100A	コヴィディエン ジャパン株式会社	13B1X00069PS003A
①	マックスファスト	コヴィディエン ジャパン株式会社	13B1X00069PS005A
①	ネルコアオキシセンサⅢ	コヴィディエン ジャパン株式会社	13B1X00069PS006A
②	マシモSETセンサ LNCS XLシリーズ	マシモジャパン株式会社	13B1X1022300001
②	マシモSETセンサ LNCSリユザブルセンサシリーズ	マシモジャパン株式会社	13B1X1022300003

【使用上の注意】

\* ＜重要な基本的注意＞

- \*\* ・ケーブル類の配線に注意してください。  
[患者に絡みついたり、締め付けたりする危険性があります。]
- \*\* ・頻繁な消毒は劣化が進むため、消毒後はひびや変形などがないことを確認してください。
- \*\* ・消毒時は、ケーブルを消毒剤に浸したり、コネクタ部を濡らしたりしないでください。  
・ケーブルを抜く際は、ケーブルコネクタを持ってください。  
適切に抜かないと使用寿命が短くなる可能性があります。
- \* ・指定の機器以外、接続しないでください。[本来の性能や機能が損なわれ、重大な事故を引き起こす可能性があります。]
- \*\* ・長期にわたって測定する場合、患者がケーブルなどで押さえつけられ、圧迫していないことを適宜確認してください。また、ケーブル類が患者の体の下に配置されないようにしてください。[血流を阻害し、圧迫壊死を生じることがあります。]

＜相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関する事）＞

\*\* 併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）	MRI装置と併用しないでください。	MRI装置への吸着、故障、破損、火傷等が起こる恐れがあります。

【保管方法及び有効期間等】

\*\* ＜保管の条件＞

温度範囲：-30～70℃  
湿度範囲：10～95%

\*\* ＜使用期間＞

ひびや変形などの劣化、またはセンサを認識できないなどの症状が発生した場合は新しいアクセサリに交換ください。

【保守・点検に係る事項】

\*\* 使用前にSpO2波形が正常に表示されることを確認してください。

＜使用者による保守点検事項＞

- \*\* 生体情報モニタ本体の取扱説明書に従い、使用前の日常点検および洗浄または消毒を実施してください。必要に応じて、洗浄または消毒を実施してください。

洗浄

1. 水で湿らせた綿布または柔らかい布で洗浄します。
2. 洗浄後、柔らかい布で水分を拭き取り、空気乾燥させてください。

消毒

推奨する消毒剤：エタノール70%、イソプロパノール70%

1. 上記の方法で洗浄後、推奨された消毒剤を使用し、綿布または柔らかい布で拭いてください。
2. 消毒後は必ず水で湿らせた柔らかい布で残留した消毒剤を拭き取り、空気乾燥させてください。

\* 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：フクダ電子株式会社

外国製造業者：Shenzhen Mindray Bio-Medical Electronics Co., Ltd. (中国)  
シンセン マインドレー バイオメディカル  
エレクトロニクスカンパニーリミテッド



046-006126-00(4.0)

接続する機器の取扱説明書を必ずご参照ください。

4L011522A